

ディスクロージャーと厳選投資をコンセプトとする 日本株ファンドを設定

- 「厳選ジャパン」、SBI証券にて9月6日募集開始 -

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 西恵正、以下「AM-One」）は、新ファンド「厳選ジャパン」を2017年9月29日に設定、運用を開始します。募集は株式会社SBI証券にて9月6日より行います。当ファンドは、受益者と運用担当者、投資先企業が共に長期にわたって国内の企業そして社会の発展を応援することをテーマとして設定します。受益者が投資ならびに投資先への理解を深められるよう、運用担当者等からの情報発信を充実させるなど運用状況のディスクロージャーを密に行う予定です。

当ファンドでは、高成長が期待される中小型株ならびに大型株から20銘柄程度を厳選して投資します。投資対象は、将来の高成長企業となりえる企業や復活を遂げると判断される古豪企業など、規模や業種などを問いません。

運用は、国内中小型株式運用で定評があるアセットマネジメントOneの運用チームが行います。所属するファンドマネジャーが運用するファンド（国内株式投資信託）は、そのパフォーマンスが認められ、過去5年間に国内株式部門で3本、国内中小型株式部門で2本、各種評価機関より賞を受賞しています。¹ チームリーダーの岩谷渉平は次のように述べています。「私たち国内株式運用チームは、株式市場を通じて企業と家計の成長に貢献することを目指しています。皆さまと共に応援していく価値があると思う企業を私たち運用者が厳選します。また、このファンドでは運用の中身を分かりやすくお伝えしていきます。この国の未来を応援していく実感を持っていただける投資信託にしたいと私たちは考えています。」

AM-Oneはこれからも、投資機会の発掘を続け、個人投資家の資産形成に資する運用サービスの提供に努めてまいります。

輪つなぎをファンドのアイコンとしました。
輪つなぎの文様のように、お客さまと投資先と
私たち運用者が密接に繋がり合い、共に満足感
を得られる「三方良し」なファンドの実践を
目指します。



以上

¹ 上記の各受賞歴は、受賞賞によって評価期間等が異なります。上記の賞の評価期間はおおむね2016年10月の統合以前の旧会社にかかるものです。各受賞ファンドの運用方針等は、当ファンドと異なります。上記の受賞歴は同一ファンドが異なる賞の受賞をした場合も含めています。評価期間は賞により異なりますが、最短のものが1年間、最長のものが10年間のパフォーマンスを検証したものです。外部評価機関による評価は過去の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

上記の運用チームに関する記載は、当ファンドの運用開始時点の運用体制を記載したものであり、組織変更等により、運用体制やチームリーダーや運用主担当者を含むメンバーが変更となる場合があります。

【ファンドの費用】 購入時手数料：上限3.24%（税抜3.0%） ■換金手数料：なし ■信託財産留保額：0.3% 運用管理費用（信託報酬）：年率1.54%（税込） ■その他費用・手数料：売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用等

【ファンドの投資リスク】くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。基準価額の変動要因は、次に限定されるものではありません。株価変動リスク、信用リスク、流動性リスク 当ファンドは実質的に、株式などの値動きのある有価証券等に投資します。このため、ファンドは株式市場の変動、投資した株式の価格変動、組入有価証券等の発行者にかかる信用状況の変化、市場に十分な需要や供給がないため取引を行えないまたは取引が不可能となること等の影響により、組入れた有価証券等の価値が下落し、基準価額が下落することがあります。これらの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当資料における内容は作成時点（2017年8月21日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP：<http://www.am-one.co.jp/>

運用資産残高は2017年6月末時点。

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会